

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 11月 10日

事業所名： 発達みかんの木ユナイト

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	0	0	7	32	10	0	スペースに関しては、今後も工夫しながら広々と感じられるようにしていく。 カームダウンエリアに関しても落ち着いた場所の提供を行えるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	0	0	7	34	8	0	決められた人員数は配置されているが、送迎に出ている時は足りないように感じる。適切な人員配置に努めていきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	0	0	7	26	10	6	環境設定に関してスタッフ間で考え、過ごしやすい環境設定を行っていく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	0	7	0	/	/	/	日々のワークの振り返りと、月に一度事業所内で支援会議を行っている。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	0	0	7	/	/	/	今回のアンケートが初めてであるため、今後業務改善に繋げていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	0	7	/	/	/	今回からホームページにて公開していく
	7 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	7	/	/	/	外部評価は行うことができていないが、系列の事業所へ相談し、助言を受けている。
	8 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	0	7	0	/	/	/	運営部から研修の案内が送られてきている。また、ZOOMでの研修もあるため参加することができる。非常勤職員については研修報告書を用いて情報共有をしている。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	2	5	0	38	4	0	保護者の意見を取り入れつつ行っている。 保護者とコミュニケーションを取れるように心がける。 各スタッフへ計画内容やプロセスを周知する。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	0	/	/	/	今後スタッフ間で話をしていく。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない		いいえ
適切な支援の提供	11 チーム全体での活動プログラムの立案	4	2	1	職員間で意見を出し合って、活動内容を定めることが出来ている。 色々な立場からの意見を今後も取り入れるようにしていく。				職員間で意見を出し合って、活動内容を定めることが出来ている。 色々な立場からの意見を今後も取り入れるようにしていく。
	12 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	1	6	0	職員間で意見を出し合って、活動予定を作成している。 計画を立てる人が、固定化しないように代わっている。 イベントについては内容が固定化されないように、季節のイベントを入れたり、系列の事業所に聞いて取り入れたりしている。	38	4	0	その時の困り感や保護者のニーズ等に応じて、担当スタッフが内容を変えて行っている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	3	4	0	平日・休日・長期休暇に応じて、イベント・スケジュールの立案を行っている。				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	3	0					
	15 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	7	0	0	毎日ミーティングを行っている。 必要に応じてグループLINEで共有をしている。				
	16 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	0	4	3	次の日の支援前のミーティングで振り返りをしている。 グループLINE等を活用して行っているが、出勤時間に差があるため全員が揃って話し合いを行うことが難しい。				細やかな情報共有ができるよう、LINEや日々のミーティング等を今後も活用していく。
	17 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	4	0	写真や動画にも残しており日々の記録は取れている。 スケジュールに対し、関わったスタッフが支援書に記入し、写真や動画を送り合い共有している。				
	18 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	7	0	0					
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	4	0	ガイドラインの内容を深く理解できていないスタッフがいる。 今後全体で共通認識できるよう勉強を行っていく。				
	20 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	1	0	児童発達管理責任者や管理者がサービス担当者会に参加している。				

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない		いいえ
関係機関との連携	21 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	3	4	0	行えている所と行えていない所がある。				
	22 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	4	3	0	担当者会・モニタリングの際に共有し、全スタッフに伝えている。				
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	0	7	就学後すぐの利用児童がいない。				
	24 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	0	0	7	まだ該当児童がいない。				
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	5	2	担当者会・モニタリングの場で意見を頂くことがある。				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	0	7	交流の機会を設けていないため、一緒に活動はできていない。今後児童館の利用等を検討していく。	6	33	3	今後、交流の機会を検討していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	0	特定のスタッフしか参加できていない。				
	28 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	5	2	0	送迎時や電話・LINE等で情報共有を行っている。	37	5	0	ノート・LINE等で伝えるようにはしているが、伝達不足になることもあるので、更にまめに伝えていくように意識したい。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	0	3	4	行うことができていない。				日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	0	0	契約時に行っている。				利用契約時に行っている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない		いいえ	保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	0	0	相談があった時は話を聞き、解決や助言まで対応できていると思う。 送迎時や電話、LINEで相談を受けている。	34	8	0	学校の様な学期ごとの面談時間があればいいと思う。	日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。
	32 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	0	7	実施したいと思っているが、できていない。 今後視野に入れていく。	6	30	6		以前は勉強会開催時に保護者同士の交流をもてる時間があったが、コロナウイルスの影響等もあり現在勉強会の予定が未定となっている。 実施したい気持ちはある。
	33 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	5	2	0	報告が遅れることがある。 職員から聞いた時点で、電話等で伝えるようにしている。	35	7	0		スタッフ間で随時情報共有を行い、迅速で丁寧な対応ができるようにしていく。
	34 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	0	4	3	会報は発行していないが、毎月イベント表を配布したり、Instagramに掲載したりしている。頻繁に更新が行えていない。	32	10	0		Instagramで活動報告の発信を行っている。また、個別のLINEで写真や動画を保護者へ送っており、活動の様子をお伝えしている。自己評価についてはホームページに掲載している。
	35 個人情報の取扱いに対する十分な対応	5	2	0	注意をしているが、出ていない時がある。ダブルチェック等を行い、注意するようにしている。 取り扱いに気を付け、写真等の使用が必要な場合は同意書を書いていただき、使用している。	38	4	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6	1	0	児童によってスケジュール・カード等を準備している。	42	0	0		LINE・電話等を活用し、迅速に情報を伝達できるようにしていく。
37 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	3	4	行うことができていない。						
非常時等	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7	0	0	玄関に掲示し、目を通しやすいようにしている。	35	7	0		マニュアルはあるが周知が不十分なところもあるため、周知に努める。
	39 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	7	0	0	年に数回、避難訓練・消火訓練を行っている。	37	5	0		年に数回避難・消火訓練を行っている。
	40 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7	0	0	運営会で行った内容をスタッフにも知らせている。					今後は受ける研修内容も幅広く計画し、虐待に関する研修も行っていけるようにする。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない		いいえ
等 の 対 応	41 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	3	0	マニュアル等の確認はしたことがない。研修棟は行っているため、今後も周知を徹底していく。計画書へ反映できていない。				
	42 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	3	4	0	医師の指示書があるか確認したことはないが、おやつ・食事イベントの際には気を付けている。				
	43 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	0	0	ヒヤリハットの作成・周知は出来ているが、事例集の作成はできていない。今後作成し共有していく。				
満 足 度	44 こどもは通所を楽しみにしているか					38	4	0	行くときは嫌がるが、いざ行くととても楽しんでいる 児童が楽しめるような活動を今後も考えている。
	45 事業所のの運営支援に満足できているか					40	2	0	